



Fiery の特殊プロダクション用製品

# Fiery Digital Factory

## バージョン 12 リリースノート

### 目次

Fiery Digital Factory バージョン 12 の概要.....	2
新機能 .....	2
変更と改善 .....	4
修正 .....	4
ソフトウェアのサポートと要件.....	5
サポート対象のオペレーティングシステム .....	5
推奨システム構成.....	5
最小システム要件.....	5
ネットワークセキュリティ .....	7
ネットワークポート .....	7
まとめ .....	7



Fiery の特殊プロダクション用製品

## Fiery Digital Factory バージョン 12 の概要

バージョン 12 には、**Digital Factory** にこれまでで最も強力なツール群が搭載されました。**Fiery** のプロファイラーとキャリブレーションツールの導入により、かつてないほど高精度で鮮やか、かつ効率的にカラーを出力できるようになります。またセットアップもこれまでにない簡単になっています。さらにバージョン 12 では、新機能のスイート一式と既存機能の大幅な改良も加えられています。

### 新機能

- デバイスのキャリブレーションとプロファイリングは、新しい **Fiery Measure** と **Fiery Calibrator** の統合により一新され、これまで以上に簡単に高精度なカラーを再現できます。
- トルコ語が新たにサポートされました。
- **Epson SD-10** 分光測色計のサポートが追加されました。
- 分光測色計用の自動スキャンテーブルのサポートが追加されました。
- 最新の **Pantone** テーブルを採用し、カラーテーブルを管理するための新しい UI を備えたスポットカラーライブラリが大幅に強化されました。ユーザーは、3 種類の最新のライブラリから選択できます。
- **Gangsheet Builder** にはジョブやネスティングのプレビュー表示、マテリアル使用量の情報など多くの機能拡張が追加されました。
- 新しい彩度レンダリングインテントが追加されました。このレンダリングインテントは、DTF およびテキスタイル向けに特別に設計されており、自然な肌色を保持しつつ鮮やかさとカラーのインパクトを高めます。
- **Production Markup** システムが、ジョブと一緒に回転できるようになりました。
- **Print Length Marks** はジョブごとに有効化が可能となり、印刷中に出力メディアの長さを追跡できるようになりました。
- ジョブラベルを同一ジョブの複数面に追加できるようになりました。
- **Pull Cut** 機能が強化され、より複雑なオブジェクトでも **Pull Cut** 操作が可能になりました。
- **Droplet Distribution Setup** により、**Epson HTM** デバイスがサポートされるようになりました。



Fiery の特殊プロダクション用製品

- 学習体験をさらに向上させるために、ツールチップやヘルプナビゲーションが改良されました。
- ColDesi AcroShear カッターのサポートが追加されました。



Fiery の特殊プロダクション用製品

## 変更と改善

- 印刷ラベルのファイル名にチェックサムを追加するかどうかを切り替えるオプションが追加されました。
- 印刷ラベルからファイル拡張子を削除するオプションが追加されました。
- バーコード配置オプションの説明が改善され、期待される位置がより明確になりました。
- インク順序設定では、**CMYK** インクが少なくとも 1 セット存在する必要があることを正しくユーザーに通知できるようになりました。
- インク順序設定では、既存のインク設定と同じカラーモデルを作成しようとした場合にユーザーに通知する機能が追加されました。
- **NIX** 分光測色計デバイスのユーザーエクスペリエンスが改善されました。**NIX Bluetooth** 機能のサポートが追加されました。

## 修正

- ジョブを回転させた後、**X/Y** の拡大縮小値が正しく表示されない問題を修正しました。
- 新しいジョブをインポートした際に、部数の値が「1」にリセットされない問題を修正しました。
- **PDF** 出力で **OPOS** バーコードを使用すると、他のサービスに **PDF** をインポートできなくなる問題を修正しました。
- フル印刷モード作成処理中に、チャートが正常に生成されない問題を修正しました。
- スコアラインが有効になっている場合に、ウィードボーダーが正しく生成されないことがある問題を修正しました。
- アンダーベースとハイライトが有効な状態で、**Maximum White Ink Wizard**（ホワイトインクの最大量の設定ウィザード）および **White Under Black Ink Wizard**（ブラックの下に使用するホワイトの量設定ウィザード）が意図しない **RIP** データを生成する問題を修正しました。



Fiery の特殊プロダクション用製品

- Summa バーコードが、PDF 出力時に正しい数字で始まらない問題を修正しました。
- Fotoba プロダクションマークアップシステムで、コピーグループの幅が誤って制限される問題を修正しました。
- ミラーカットデータが範囲外に配置される問題を修正しました。
- Max Ink ワークフローを最大 8 つのインクチャンネルに正しく対応するように改善しました。

## ソフトウェアのサポートと要件

### サポート対象のオペレーティングシステム

- Windows 10
- Windows 11

### 推奨システム構成

オペレーティングシステム	Windows 11
メモリ	16GB RAM
ストレージの空き容量	SSD (使用可能な空き容量 : 50GB)
CPU	Multicore インテル®プロセッサまたは AMD プロセッサ、3GHz 以上
解像度	1080p または 4K

### 最小システム要件

オペレーティングシステム	Windows 10
--------------	------------



Fiery の特殊プロダクション用製品

メモリ	8GB RAM
ストレージの空き容量	HDD（使用可能な空き容量：50GB）
CPU	Multicore インテル®プロセッサまたは AMD プロセッサ、1.7GHz 以上
解像度	720p



Fiery の特殊プロダクション用製品

## ネットワークセキュリティ

Fiery の Digital Factory にはネットワーク通信を利用したさまざまな機能が搭載されています。ネットワーク障害や不正アクセスは、適切なドライバーを取得する機能を阻止したり、ソフトウェアの検証を妨害する可能性があります。ネットワーク管理者またはテクニカルサポートからのサポートのない状態でネットワークの通信許可を変更しないでください。

### ネットワークポート

ネットワークが使用可能かどうかを確認する場合やウイルス対策ソフトウェアをインストールする場合に、次のポートをブロックしないでください。

ポート名	目的
80	デバイスドライバーのダウンロード
443	Fiery サーバーのインフラストラクチャを使用した HTTPS リクエスト

## まとめ

Fiery Specialty Production は Fiery ソフトウェアをより快適にお使いいただくためのアップデートをお届けします。このリリースでは、お客様のプリンターをより良く動作させるために、新機能や改善した機能、重要なバグ修正、貴重なセキュリティパッチが提供され、性能と安全性を最適化しています。

平素より貴重なご意見を賜り誠にありがとうございます。頂きましたご意見は今後の改善と革新に活かしてまいります。問題が発生した場合やご提案がございましたら、サポ



Fiery の特殊プロダクション用製品

ートチームまでご連絡ください。Fiery Specialty Production Applications をご利用いただきありがとうございます。